

## 天理よろづ相談所病院を受診された患者様へ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の連絡先にお問い合わせください。

お申し出になられても、いかなる不利益も受けることはございませんのでご安心ください。

また、この研究は当院の研究倫理委員会の審査を受け、病院長の許可を受けて実施しています。

研究課題名	顎間固定患者への冊子改訂の取り組み
当院の研究責任者（所属）	藤井真子（歯科・口腔外科）
本研究の目的	<p>歯科・口腔外科では、転倒、スポーツ中の事故等が原因で顎を強打、骨折した患者の受診がある。顎骨を骨折した場合、上下の顎を固定する顎間固定処置や手術を行う。当科は 1992 年に顎間固定処置をする患者に固定中の注意点、食事の摂り方等を書いた冊子を作成し、手渡してきた。今回、2020 年 2 月～2026 年 1 月末日までの間に顎間固定処置を行った患者のカルテを振り返り研究し、冊子改訂に取り組んだ。食事・栄養面については管理栄養士と連携し専門的視点からの内容に変更した。改訂前の冊子に掲載していた顎間固定前後の口腔内写真は作成当初の 34 年前のものであり不鮮明であったため、より高画質な写真に変更した。文章は歯科医師と共同し内容の補足・修正を行い内容を見直した。これらの冊子改訂の取り組みを研究の目的とした。</p>
調査データ 該当期間	2020年2月～2026年1月末日
研究方法 （使用する試料等）	<p>■調査対象となる患者様 上記期間中に顎骨骨折疑いで当院歯科口腔外科を受診した初診患者</p> <p>■使用する情報 診療記録、レントゲンの画像検査結果等</p>
試料・情報の 他の研究機関への 提供および提供方法	他の機関への資料・情報の提供はない

<p>個人情報の取り扱い</p>	<p>研究に利用する試料や情報には個人情報が含まれますが、院外に提出する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。当院の研究責任者は、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける情報も含めて、責任をもって適切に管理いたします。また、研究成果は日本歯科衛生士会学術大会で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報が公表されることは一切ありません。</p> <p>将来、この研究で得られた情報も別の研究に利用（二次利用）する可能性があります。その場合も個人を直ちに判別できる情報を出すことはありません。二次利用する場合は、その研究計画について改めて研究倫理委員会及び研究機関の長の承認を得て実施となり、その内容は参加機関のホームページ等で公開されます。</p>
<p>本研究の資金源 (利益相反)</p>	<p>本研究に関連し、開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。利益相反については、当院の利益相反委員会で審査され、適切に管理されています。</p>
<p>研究期間</p>	<p>病院長承認日 ～ 2026年10月31日</p>
<p>お問い合わせ先</p>	<p>天理よろづ相談所病院 歯科口腔外科 電話：0743-63-5611（代表） 研究責任者：藤井真子</p>